まちづくり大学

『地域の支え合い活動について』

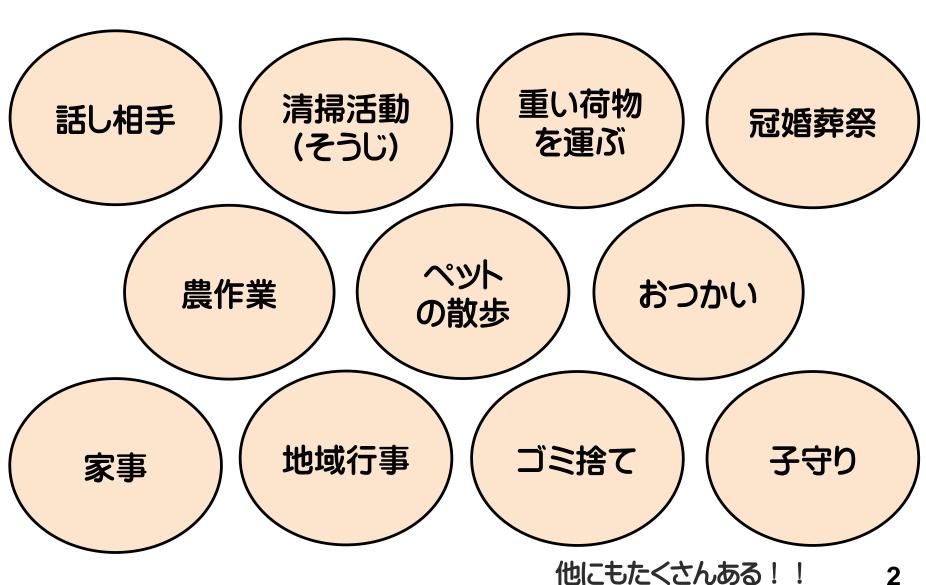
ボランティアへの道ステップ川

平成30年1月13日(土) 大阪狭山市社会福祉協議会

地域の支え合い (助け合い)活動って??



【地域での支え合い(助け合い)活動】





支え合い(助け合い)活動は・・・

認知症の高齢者、障がいがある人、生活困窮の状態にある人などを地域から排除するのではなく、ともに生きる住民として、地域で支え合い(地域共生社会)、また受け止めていくこと。

支援を必要とする人と地域社会の繋がりをつくり出し、誰かのためではなく「自分のためでもある」「私たちの問題である」という意識が重要。

「助け上手」「助けられ上手」を地域に増やし、さまざまな生き方や暮らしのあり方を認めあうこと。



支え合い(助け合い)活動は・・・

例えば!

制度によるサービスだけで生活が支えられたとしても、地域で暮らし続 けるには十分でしょうか?、専門職(ケアマネジャー・ホームヘルパー等) による介護サービスや家事援助サービスを利用して いても、近隣の人達が認知症高齢者に対する 偏見や先入観を持たれていたとしたら…、 出歩くことさえ気軽に出来ず困難…。





日常生活に少々不安があっても、認知症があっても、 それを受容してくれる地域。

また、助けを気軽に求められる人が周りにいる。

お互いさま の気持ち

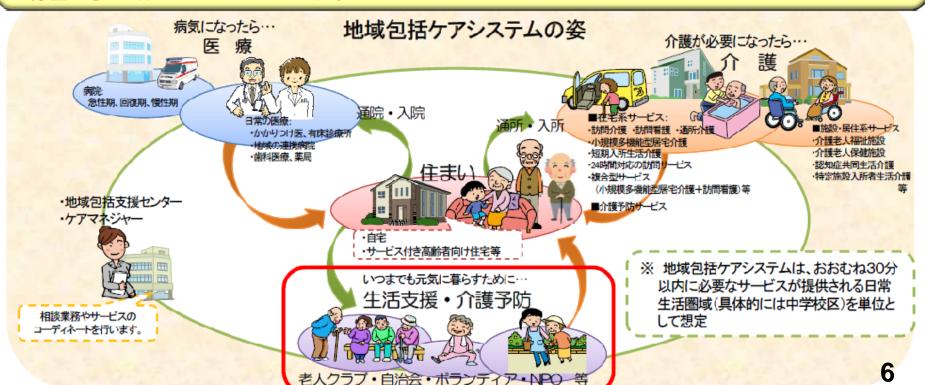
支え合い(助け合い)活動は・・・

住み慣れたところで、誰もが安心して、その人らしく暮らし続けられるような地域をつくっていくこと。

『地域づくり』という大きな目的。

地域包括ケアシステムの構築について

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域 包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する 町村部等、高齢化の進展状況には大きな地域差。
- 地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の 特性に応じて作り上げていくことが必要。



大阪狭山市で実施されている 支え合い(助け合い)活動

- ① 地区福祉委員会
- ②小地域ネットワーク活動推進事業
- ③コミュニティカフェ
- ④さやりんおれんじカフェ
- ⑤大阪狭山市ボランティアセンター
- ⑥ヒューマン・ケア事業

地区福祉委員会

概要

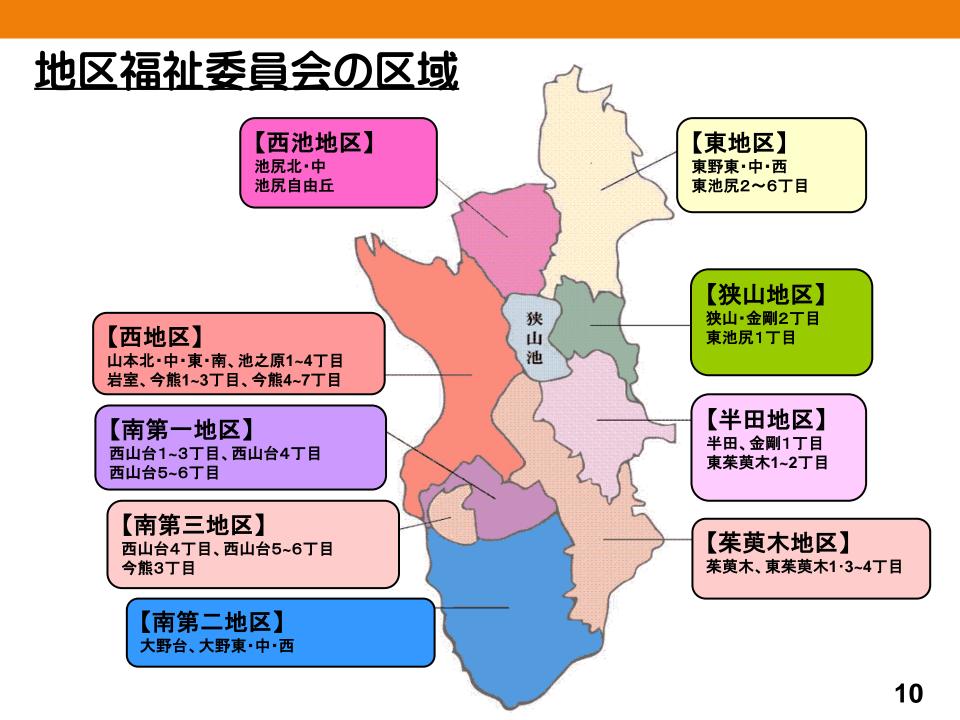
地区福祉委員会は、住みよい福祉のまちづくりを進めることを目的にした 住民参加の自主的な組織、概ね小学校区をその範囲とし、本市では7小学校 区に9つの地区福祉委員会が設置されています。活動をとおして「ご近所付き 合い」「向こう3軒両隣」の大切さを広めています。

構成

自治会や老人クラブなどの各種団体や関係機関の代表、民生委員・児童委員など、福祉委員(平成29年度は市全体で458名)となりボランティア活動を実践、地域福祉の推進に向けた活動に取り組まれています。

福祉委員

住民の生活・福祉課題 (困りごと)を、「見守り・声かけ・相談対応」しながら発見する"地域のアンテナ役"。民生委員・主任児童委員や社協などの関係者・専門職等と連携しながら、近隣住民に働きかけ、一緒になって、発見し、生活・福祉課題 (困りごと)の解決に向けて取り組まれる。



地区福祉委員会の主な活動

【小地域ネットワーク】







【地域交流 ふれあいバスツアー】



【地域清掃】



【住民向け講演会】



【ふれあい広場】



【福祉委員研修会】



【認知症声かけ訓練】



【健康体操】



それぞれの地域の特性に合わせて事業を実施

小地域ネットワーク活動

概要

小地域ネットワーク活動は、要援護者一人ひとりを対象とした「見守り活動や日常生活の支援を行う活動」です。地域の寝たきりやひとり暮らし、高齢者、障がい(児)者、子育て中の親子等支援を必要とするすべての人が安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力によって「支え合い・助け合う活動」となります。

活動内容

【個別援助活動】

見守り・声かけ訪問活動、介護・介助援助活動、ガイドヘルプ活動、家事援助活動、軽作業援助活動、介護用具・自助具リフォーム活動など

【集団援助活動】

ふれあい食事サービス活動、いきいきサロン活動、世代間交流活動、ミニディサービス活動、地域リハビリ活動、子育て支援活動など

小地域ネットワーク活動を必要とする社会背景

社会関係や人間関係の希薄化

生活の都市化や核家族化の進行・近所のたすけあい関係の喪失。また、所得や家族などの生活基盤の崩壊による地域社会からの孤立。

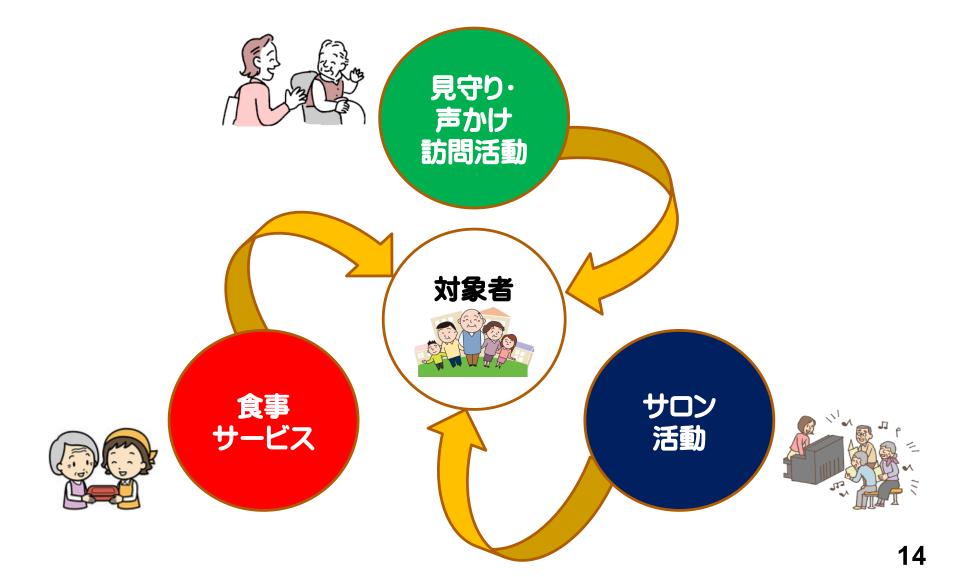
公的サービスの限界

在宅の要援護状態であっても24時間専門機関が対応するには限界がある。要援護者が制度の狭間に埋もれないような取り組みが必要。

いざという時、力を発揮する地域のつながり

阪神・淡路大震災や東日本大震災には、近隣住民のたすけあいが大きな力となった。日常的な繋がりがいざというとき力を発揮する。

小地域ネットワークメニュー



見守り声かけ訪問活動



地域の高齢者等が、安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合い活動。

〈活動内容〉

- ◇ 見守り・声かけ活動
- ◇ 話し相手
- ◇ 家事援助活動
- ◇ ガイドヘルプ活動
- ◇ 簡単な用事の手伝い

など

〈事業対象〉

- ①おおむね65歳以上のひとり暮らし及び寝たきりの人
- ②その他社協会長が認めた者

活動の様子「見守り声かけ訪問活動」



食事サービス (配食・会食型)

在宅の高齢者や障がい者等の食生活の維持向上を支援するとともに、地域住民との安否確認を兼ねたふれあい交流を図る。



〈活動内容〉

- ◇ 配食サービス 調理された弁当を地域 の方が配達し、安否確認 を行う。
- ◇ 会食サービス 自治(地区)会館等で、 対象者と地域方がみん なで食事する。

〈事業対象〉

- ①概ね65歳以上のひとり暮らし及び寝たきりの人
 - ※但し、会食は寝たきりの人を 除く
- ②概ね70歳以上の高齢者のみの 世帯
- ③重度の心身障がい者の世帯
- 4その他社協会長が認めた者

活動の様子「食事サービス」



サロン活動



地域を拠点に、当事者とボランティアが協働で、交流ができる場。



〈活動内容〉

- ◇ いきいきサロン活動
- ◇ ミニデイサービス活動
- ◇ 地域リハビリ活動
- ◇ 子どもとの ふれあい交流活動 など

〈事業対象〉

- ①高齢者
- ②障がい者
- ③子育て中の親子
- ④その他社協会長が 認めた者

活動の様子「サロン」









市内の活動の様子〈サロン〉







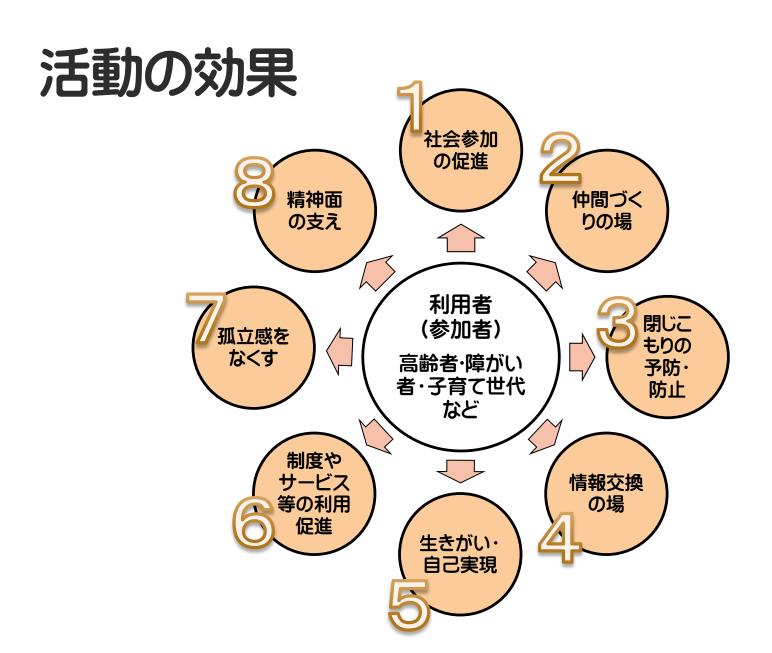


活動実施地域

地区名	実施支部名	食事		サロン		見守り	
	天地文部石	会食	配食	高齢等	子育て	26.0.2	
東地区	東野			0	0		
	東池尻			0	0		
	東野大鳥池	0		0			
狭山地区	狭山コーポ	0		0		0	
	狭山中			0			
	狭山西			0	0		
	遊園ハイツ	0		0			
	レークハイツ			0			
	グランドハイツ			0			
西池地区	自由丘	0		0	0		
	池尻	0		0	0		
	南海狭山住宅	0		0			
西地区	岩室		0	0			
	山伏			0			
	口大野			0			
	緑ヶ丘	0	0	0			
	藤和さやまハイタウン	0		0			
半田地区	南海金剛住宅	0		0			
	金剛1丁目	0		0		0	
	東村			0	0		
	川向	0		0	0	0	
	前田			0			
	北村			0			
	浦之庄			0			
	ライオンズマンション金剛			0			

10.ET 62	G1+5-1-48 A2	食事		サロン		
地区名	実施支部名	会食	配食	高齢等	子育て	見守り
茱萸木地区	茱萸木	0		0		0
	スカイハイツ	0		0		
南第一地区	ニュータウン	0		0		0
	桜ヶ丘			0		
	ガーデンハイム			0		
	府営北	0		0		
	ディオフェルティ			0		
南第二地区	大野台1丁目	0		0		0
	大野台3丁目	0		0		0
	大野台4丁目	0		0		0
	大野台5/6丁目	0		0		0
	大野台7丁目	0		0		0
	大野台7丁目北			0		0
	大野			0		
南第三地区	府営南	0		0		
	公団	0		0		

Ι.						
	実施地区数	22	2	41	7	11



さやりんおれんじカフェ(認知症カフェ)

認知症の人や家族、地域の人や関係職員など、誰でも気軽に集まり、楽しく過ごしながら仲間作りや情報交換をする場です。



番号	名称	開催場所	開催日時	内容等
1	げんき	げんき館	第2(水)、第4(土)	脳トレ、合唱を行い
	カフェ	(茱萸木3-254-2)	14時~17時	頭を使う
2	さくらあつ	さくらの杜半田	概ね第1(日)	認知症を知るプログ
	たかカフェ	(半田3-471-1)	14時~17時	ラムの実施
3	カフェ おもちゃ館	おもちゃ館 (西山台6-16-5)	毎日曜日、第3(水) 13時~16時	型染めや絵手紙
4	くみのき	くみのき苑	第2(水)、第4(土)	パン教室や栄養相
	カフェ	(東茱萸木4-1977)	14時~17時	談も実施
5	カフェ 笑	笑 (大野台7-11-10)	第1•3(日) 13時~16時	来れば笑いあり、笑 顔になれる場所

活動の様子「さやりんおれんじカフェ」



コミュニティカフェ

高齢者や認知症のかたに限らず、地域の誰もが気軽に立ち寄り、お茶とお菓子を囲んで楽しく交流する場、居場所として開催されています。

番号	名称	開催場所	開催日時
1	円卓カフェ	NPO南中学校区まちづくり円卓会議	毎週月曜~金曜
	「みらい」	(大野台2-1-58 ハーティ地階)	13時半~16時半
2	地域交流サロン	ファボーレケアプランセンター	毎週火曜
	フレスコカフェ	(大野西742-11 ケアハウスフレスコ)	11時半~14時半
3	Café花ごよみ	結いまーる	第1·3·5木曜
	整体カフェ	(東茱萸木2-1868-1)	10時~正午
4	Café花ごよみ オープンルームカフェ	"	第2·4水曜 10時~正午
5	café Heart mori	ハート守 (池尻中1-18-27)	毎週金・土曜 ※第2・4土曜は歌声喫茶 13時~17時 毎週土・日曜 8時~11時



大阪狭山市ボランティアセンター

ボランティア活動に関する相談や登録、関係機関への 照会、連絡、調整を行っています。また、ボランティアだよ りを通じ、様々な活動紹介や各種情報提供を行っています。



連絡· 調整

ボランティアセンターに登録しているグループや個人、 ボランティアの交流や連絡調整をします。 養成· 研修

活動への参加の機会や資質向上のため養成講座や研修会を開催しています。

3

活動支援

活動の充実のため、録音 機などの機材の貸出や、活 動費などの助成をしています。 広報 啓発

ボランティアだよりやパンフレットを発行し、みなさんの理解と参加を促します。

5

相談· 登録 斡旋

活動をしたい人や派遣を希望する人の相談や登録・斡旋 をしています。 6

情報· 資料 提供

みなさんの活動に役立つ さまざまな情報や資料をそろ えて提供しています。

大阪狭山市ボランティアセンター グループ一覧①

	グループ名	主な活動内容
1	つくしの会	ひとり暮らし者人会食会の調理ボランティア、高齢者施設での料理教室
2	メンズボランティア狭山 M V S	ひとり暮らし者人会食会送迎、イベントや行事への協力、手作りおもちゃなどの指導、 美化清掃活動
3	手話サークルさやま	聴覚障がい者との交流会、手話・聴覚障がい問題の学習や指導、行政などの行事開催時 の手話通訳
4	さやまおりがみ倶楽部	折り紙の普及と指導
5	シルバーアドバイザー狭山 S A S	行政や社協などの行事への参加協力、情報共有化プログラムの推進
6	環境学習支援倶楽部さやま	狭山池や陶器山、市民ふれあいの里を中心に、自然体験活動の普及と指導者の養成
7	ジュニアボランティアツボミ	小・中・高校生のつながりを大切にした活動(トレーニングキャンプのリーダー活動 や、施設訪問、イベントスタッフなど)
8	傾聴さやま	話し相手を必要としている高齢者の個人宅、高齢者施設への訪問による傾聴
9	NPO団体 グローバル・スクール	高齢者を対象にした歌声広場、健康麻雀
10	音楽ボランティア ハーモニーさやま	尺八、キーボード、ギターなどからなる音楽バンド サロン活動、自治会、団体などに出向いての演奏活動
11	さやまおはなしの会	「おはなし会」「出かけるおはなし会」を開催して、ストーリーテリング・絵本・紙芝 居などを通して童話の楽しさや、おはなしの輪を広げる活動
12	大阪狭山市朗読ボランティアグループだんぽぽ	視覚障がい者との交流会、「声のたより」・録音図書の作成、府下の朗読ボランティアとの交流会に参加、対面朗読 28

大阪狭山市ボランティアセンター グループ一覧②

	グループ名	主な活動内容
13	さやまカンタービレ	高齢者施設などを訪問し、歌を歌うなど音楽を使ったボランティア活動
14	自助具の工房さやま	高齢者や障がい者に対し日常生活用具に改良を加えた自助具の製作・提供
15	ゆずり葉	車いす・アイマスク体験指導のボランティア
16	大阪狭山市食生活改善推進協議会	市民の健康づくりに寄与するため、栄養改善の実践活動を広く推進
17	会食会調理ボランティア	ひとり暮らし者人を対象とした会食会の調理ボランティア
18	きつつき (点字・点訳)	点字・点訳活動 (児童向けの本、小説などの点訳、小・中学生の点字学習指導)
19	人形劇団赤いりんご	子ども会、福祉施設などでの人形劇の公演
20	精神保健福祉ボランティアすぎな	精神障がい者作業支援・行事協力
21	南京玉すだれお多福会	南京玉すだれの実演
22	レッツパペット	腹話術の公演
23	ギターアンサンブル ペアレンツ	福祉施設でのギター演奏
24	要約筆記通訳グループどんぐり	筆記(ノートテイクなど)を通して聴覚障がい者への情報提供や交流活動

29

大阪狭山市ボランティアセンター グループ一覧③

	グループ名	主な活動内容
25	手話コーラス同好会つばさ	手話の勉強と手話コーラスを通しての地域との交流
26	さやま婦人	婦人会事業(社会見学、健康体操及び料理教室、環境やエコに関する講演会、手芸教 室、ゴーヤカーテン運動、赤い羽根の共同募金運動)
27	ムジカ	高齢者施設や自治会などでハーモニカ演奏
28	Sky drop	学生ボランティアサークルで、障がい者施設や高齢者施設などのイベント時の手伝い
29	大阪狭山桜太鼓	地域のイベントや福祉施設での和太鼓実演
30	ベル・バタフライ	高齢者施設などでミュージックベル演奏
31	ドレミちゃん♪	絵本の読み聞かせ、童謡・唱歌を歌う
32	子育てサポートまい・ペ〜す	子育てや人間関係などの電話相談
33	大阪狭山市レクリエーション協会	レクリエーション活動を通した遊びのデリバリーと、キャンプ・野外活動教室の開催
34	オカリナかえる	地域のイベントや福祉施設でのオカリナ、ギター、三線の演奏、紙芝居の読み聞かせ
35	シルバートーンズ (Silver Tones) 友の会	高齢者施設、地域のサロンや小学校などでテノールサックス、ギターの演奏

ヒューマン・ケア事業(有償ボランティア活動)

日常生活上のお困りごと(家事や介護、ゴミ出し等)を少しでも和らげるために、地域の人々(協力会員)の参加によって行う会員方式の有償ボランティア活動です。協力会員が利用会員を訪問し、会費・時間制で援助を行います。

対象者	市内在住の高齢者、 障がい者(児)、 母子・父子家庭等
サービス 内 容	家事援助・介護援助・外出介助・入院中 のお世話・子どもや産前産後のお世話等
利用時間	月曜日~土曜日 午前9時00分~午後5時00分 ※日曜日、祝日、年末時(12月29日~1月4日)は休業
費用	年 会 費 2, 100円(税込み) 利用料金 30分/420円(税込み) ※事前にチケットをご購入下さい。
登録方法	事前の訪問調査後の登録となります

ご利用の流れ 3サービス (内容) 掃除、洗濯、料理 など簡単な家事。 ①申议 産前・産後のお世 話、ゴミ出しや犬 の散歩など 4利用料 多謝礼 (30分/420円) (30分/350円)

介護予防・日常生活支援総合事業(略して、総合事業)

介護予防・日常生活支援総合事業って一体何のこと??

平成29年4月から、介護予防・日常生活支援総合事業(以下「総合事業」という) ガスタートしました。

総合事業は、これまでの全国一律の基準による介護予防訪問介護と介護予防通所介護等を、地域の実情に合わせた形に見直すものです。

市民など多様な主体(NPO法人、民間企業、ボランティア、いきいき高齢者など)がサービスの担い手に加わることや、市内の様々な社会的資源を再度見直し、整理・活用することにより中・長期的な視点で以下の実現を目指します。

住民同士の繋がりや地域の支え合い 体制を再構築し、 強化します。



高齢者の多様なニーズに対するサービスを充実させることで、在宅生活の安全を 確保します。

市民など多様な主体が提供するサービスの利用を 促進し、要介護(要支援)認定に至らない高齢者 を増やします。また、介護度の重度化を予防します。



総合事業のサービス概要

平成29年4月から、訪問介護(ホームヘルプサービス)と通所介護(デイサービス)は「介護予防・生活支援サービス事業」に移行しました。移行後の「訪問型サービス」と「通所型サービス」では、従来のサービスに加え、大阪狭山市独自のサービスを利用できます。

サービスの利用に当たっては、地域包括支援センターと相談しながら、住み慣れた地域での<u>自立した日常生活を目指し</u>、ケアマネジャーが介護予防ケアプランを作成します。また「介護予防・生活支援サービス事業」のみを利用する場合は、基本チェックリストによってサービス利用が可能か判断できます。これにより、要介護認定申請を省略して迅速にサービスを利用することができます。

※基本チェックリスト…25の質問項目で日常生活に必要な機能が低下していないかを調べます。

☆基本チェックリスト及び認定申請に関する相談は市役所のみではなく、地域包括支援センターでも受け付けています。

生活支援・介護予防サービスの充実と高齢者の社会参加

- 単身世帯等が増加し、支援を必要とする軽度の高齢者が増加する中、<u>生活支援</u>の必要性が増加。<u>ボランティア、NPO、民間企業、協同</u> 組合等の多様な主体が生活支援・介護予防サービスを提供することが必要。
- 高齢者の介護予防が求められているが、社会参加・社会的役割を持つことが生きがいや介護予防につながる。
- 多様な生活支援・介護予防サービスが利用できるような地域づくりを市町村が支援することについて、制度的な位置づけの強化を図る。具体的には、生活支援・介護予防サービスの充実に向けて、ボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やそのネットワーク化などを行う「生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)」の配置などについて、介護保険法の地域支援事業に位置づける。

地域住民の参加

生活支援・介護予防サービス

- 〇二一ズに合った多様なサービス種別
- 〇住民主体、NPO、民間企業等多様な 主体によるサービス提供
 - ・地域サロンの開催
 - 見守り、安否確認
 - 外出支援
 - ・買い物、調理、掃除などの家事支援
 - ·介護者支援 等

生活支援の担い手 としての社会参加



高齢者の社会参加

- 〇現役時代の能力を活かした活動
- ○興味関心がある活動
- ○新たにチャレンジする活動
 - ·一般就労、起業
 - 趣味活動
 - 健康づくり活動、地域活動
 - ・介護、福祉以外のボランティア活動 等

バックアップ

市町村を核とした支援体制の充実・強化

バックアップ

都道府県等による後方支援体制の充実

地域づくり協議体

地域づくり協議体とは??

介護予防・生活支援サービスの体制整備に向けて、定期的な情報共有及び連携・協働を行います。大阪狭山市にお住まいの高齢者の「社会参加」「生きがいづくり」をすすめながら、「住み慣れた地域で自分らしい生活を続けて頂くため」の地域づくりの推進を目的に設置しています。

※正式名称

『大阪狭山市介護予防・日常生活支援総合事業に係る地域づくり協議体』

協議体の役割は??

生活支援コーディネーターの組織的な補完、地域ニーズの把握、情報の見える化の推進、企画・立案・方針策定を行う場、地域づくりにおける意識の統一を図る場、情報交換の場、働きかけの場等となっています。

地域づくり協議体

参画団体

- ①大阪狭山市地区長会
- ②大阪狭山市民生委員:児童委員協議会
- ③大阪狭山市市民活動支援センター
- ④まちづくり研究会 福祉・介護分科会
- ⑤大阪狭山市老人クラブ連合会
- **⑥大阪狭山市社会福祉施設連絡会**
- ⑦大阪狭山市ボランティアグループ連絡全
- 8地区福祉委員長連絡会
- ⑨狭山中学校区まちづくり円卓会議
- ⑩第三中学校区まちづくり円卓会議
- ①南中学校区まちづくり円卓会議
- ⑫くみのき苑在宅介護支援センター
- 13さやまの里在宅介護支援センター
- ⑭大阪狭山市シルバー人材センター
- ⑤大阪狭山市地域包括支援センター
- 16大阪狭山市社会福祉協議会



地域づくり協議体





いま、あなたにできることが、 いま、地域に必要なこと 安心・安全な福祉のまちづくりをめざして

地域を住みよいまちにするためには、 皆さんひとりひとりの理解と協力が必要です。 「ちょっとだけ」の力を是非地域へ…。

大阪狭山市社会福祉協議会 電話 072-367-1761

